

平成24年度 病害虫発生予察情報 予報第1号

平成24年5月18日
 広島県東部農業技術指導所

1 発生予察情報

(1) かんきつ（5月中旬調査）

■適用地域：県東部

病害虫名	発生量（平年比）		防除上の注意事項
	現況	予想 ^{*1}	
かいよう病	並 (発生なし)	並	<p>今後、強風や降雨が多いと多発しやすいので、次の事項を踏まえ、防除を徹底する。</p> <p>■農薬による防除の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢自己摘心期に銅剤による防除を必ず行う。 ・防除時期は気象条件や樹体の生育状況によって変化するので、時期を逸しないように注意する。 ・ネーブル、レモン、はるみ等のかいよう病が発生しやすい品種では、防除を行う。 <p>■農薬使用上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤散布に当たっては、農薬使用基準を厳守する。なお、銅剤散布に当たっては、薬害が発生しやすいので次の事項に注意する。 ・無機銅剤（コサイド剤など）の散布を行う際、クレフノン（希釈倍数：200倍）を加用する。 ・マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず散布し、これらの剤との散布間隔は7日以上あける。 ・高温時に散布を行うと薬害が発生しやすいので注意する。 <p>■耕種的防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発病した葉や枝は伝染源となるので除去する。 ・強風雨で発生が増加するので、防風樹、防風ネットを整備する。
ミカン ハダニ	やや多	やや多	<p>発生量が高密度になると十分な防除効果が得られにくいので、基幹防除を徹底する。特に、冬季または春季にマシン油乳剤を散布していないほ場では多発しやすいので注意する。</p>

*1 予想は、次回調査時期（6月上旬）までの予想発生量を示す。

(2) 果樹全般 (1月下旬~2月中旬調査)

■「平成24年度病害虫発生予報第1号」(平成24年4月19日農林水産省発表)によると、「果樹カメムシ類の越冬量は、中国及び四国の一部地域で「多い」と予想されます。本書虫は、越冬場所である山林から飛来してくるので、例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。」と発表されていますので、注意してください。

■適用地域：県東部

病害虫名	発生量 (平年比)		防除上の注意事項
	現況	予想*2	
チャバネアオカメムシ	やや多	やや多	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹を加害するカメムシ類は、発生の年次変動が大きい。集合フェロモントラップによる誘殺状況調査では、7月上旬までの累積誘殺数から、その年のチャバネアオカメムシ発生量が予測できる。広島県HP「広島県病害虫発生予察調査データ」を参照し、発生動向に注意する。 (http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/1277272780285.html) ・カメムシ類は移動性が高く、飛来は園地間差が大きい。夕方または早朝に、園地周辺も含めて巡回し、園地への飛来が認められたら防除を行う。 ・果樹カメムシ類の加害は長期間に及ぶため、継続して園地の観察に努め、防除実施後も園地への飛来が認められる場合には、追加の防除を行う。 ・基幹防除を徹底し、山際の園地などで発生が多く見られる場合は、追加防除を行う。

*2予想は、次回予報時期(7月上旬)までの予想発生量を示す。

2 その他病害虫の発生状況

作物名	病害虫名	現況	病害虫名	現況
かんきつ	アブラムシ類	少	イセリヤカイガラムシ	やや多
	ナシマルカイガラムシ	並(発生なし)	ツノロウムシ	並(発生なし)
	ルビーロウムシ	並(発生なし)		

3 予報の根拠

(1) かんきつ (5月中旬調査)

ア かいよう病 (県東部)

(ア) 巡回調査結果 (新葉調査)

ネーブル, レモン共に平年並の発生であった (発生なし)。

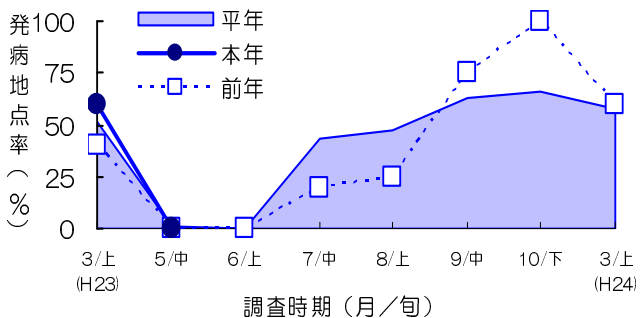
(イ) 今後の気象

平年と同様に晴れの日が多い見込みである。

(ウ) 巡回調査結果の具体的数値 (グラフ)

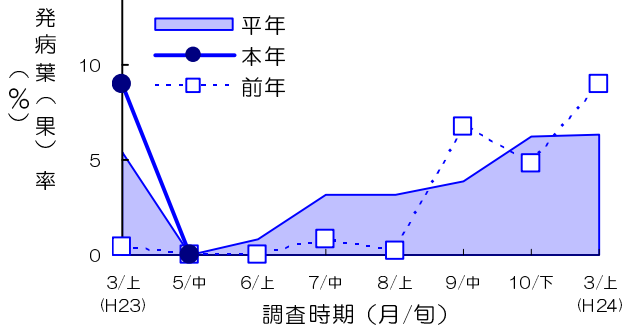
発病地点率【ネーブル】

(発病葉率:3月上旬~7月中旬, 発病果率8月上旬~10月下旬)



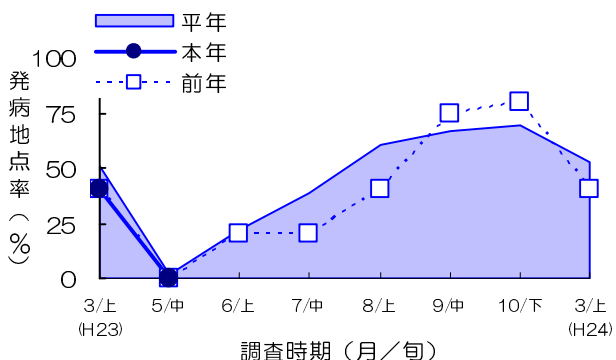
発病葉(果)率【ネーブル】

(発病葉率:3月上旬~7月中旬, 発病果率8月上旬~10月下旬)



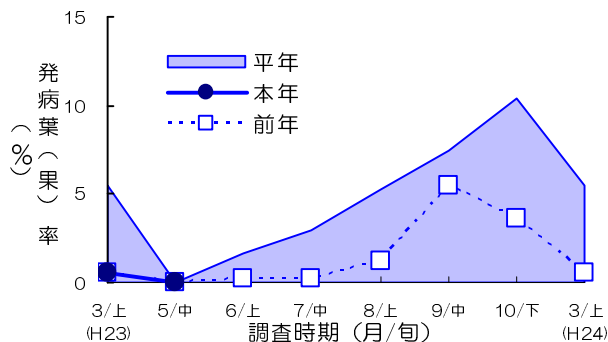
発病地点率【レモン】

(発病葉率:3月上旬~7月中旬, 発病果率:8月上旬~10月下旬)



発病葉(果)率【レモン】

(発病葉率:3月上旬~7月中旬, 発病果率:8月上旬~10月下旬)



イ ミカンハダニ (県東部)

(ア) 巡回調査結果 (新葉調査)

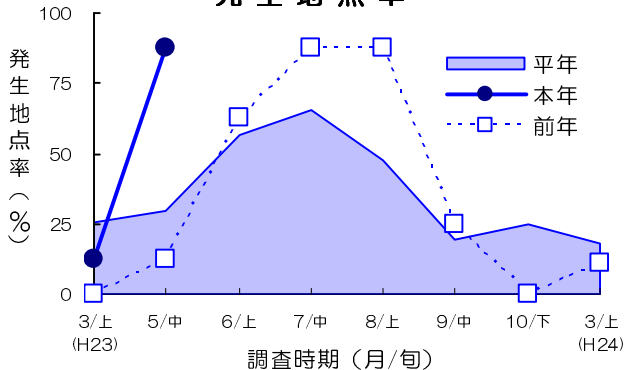
平年に比べ、やや多い発生であった。

(イ) 今後の気象

平年と同様に晴れの日が多く、向こう1ヶ月の平均気温は高い確率は50%で、ミカンハダニの発生に好適である。

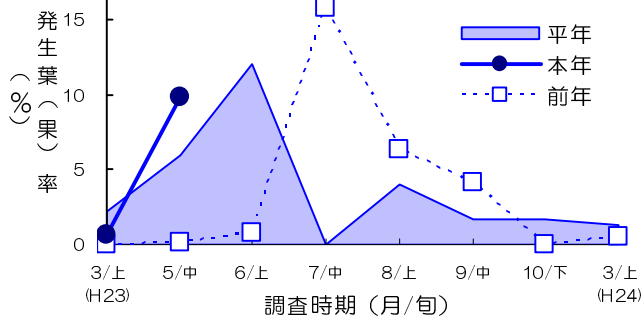
(ウ) 巡回調査の具体的数値 (グラフ)

発生地点率



発生葉(果)率

(発病葉率:3月上旬~9月中旬, 発病果率:10月下旬)



ウ その他病害虫の巡回調査結果

病害虫名	現況	地点率	葉率・枝率
アブラムシ類	少	12.5% (平年 69.3%)	枝率 0.4% (平年 7.2%)
イセリヤカイガラムシ	やや多	12.5% (平年 4.0%)	枝率 0.1% (平年 0.1%)
ナシマルカイガラムシ	並 (発生なし)	0% (平年 0%)	枝率 0% (平年 0%)
ツノロウムシ	並 (発生なし)	0% (平年 2.5%)	枝率 0% (平年 0.0%)
ルビーロウムシ	並 (発生なし)	0% (平年 0%)	枝率 0% (平年 0%)

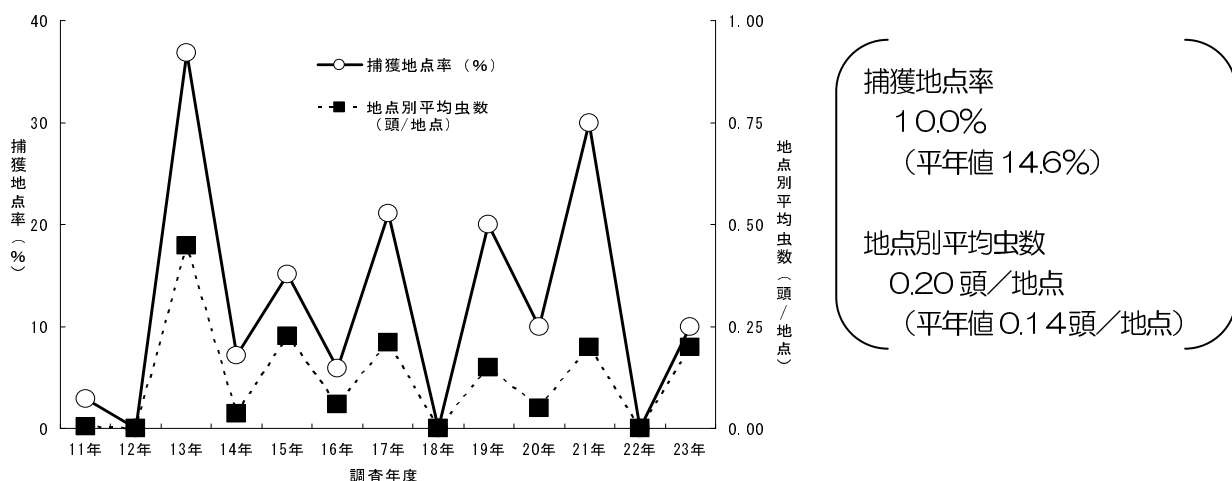
(2) 果樹全般

チャバネアオカメムシ (県東部)

(ア) 越冬量調査結果

平年に比べ、やや多い発生であった。

(イ) 調査結果の具体的数値 (グラフ)

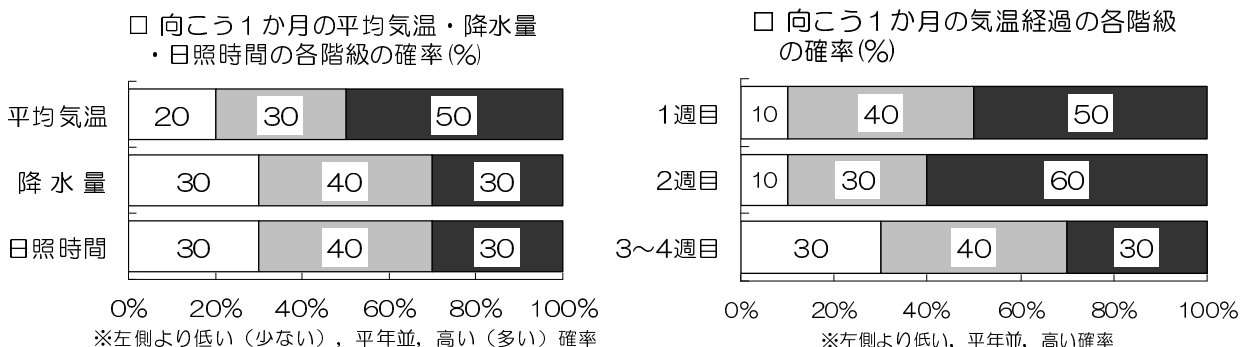


チャバネアオカメムシ越冬量調査結果

4 気象情報

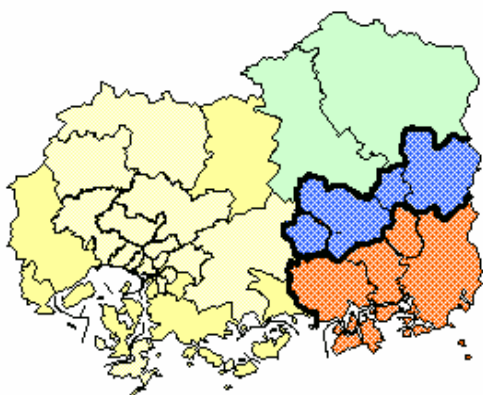
■中国地方1か月予報 (平成24年5月12日~6月11日) 【広島地方气象台5月11日発表】

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、高い確率60%です

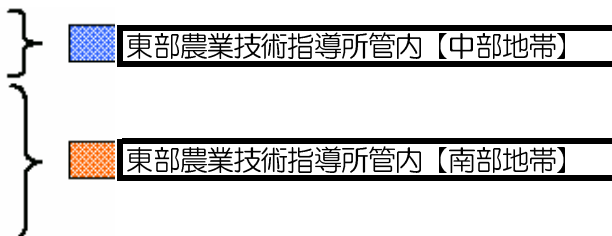


5 情報にかかる用語説明等

(1) 地帯区分



地帯区分		該 当 市 町
県東部	中部	三原市久井町, 三原市大和町, 世羅町, 府中市上下町, 神石高原町
	南部	三原市(久井町, 大和町を除く), 尾道市, 福山市, 府中市(上下町を除く)



(2) 平 年 値

過去10年間(平成14年~平成23年)の平均値です。

(3) 予想発生量・現況

原則として過去10年の数値をもとに気象予報等を参考にして、本年の発生量がどの程度かによって次の5階級に区分して予報しています。

- 多 … 予想発生量が過去10年の最大値と同程度の場合を表します。
- やや多 … 予想発生量が過去10年の2~3番目に多い値と同程度の場合を表します。
- 並 … 予想発生量が過去10年の4~7番目に多い値と同程度の場合を表します。
- やや少 … 予想発生量が過去10年の2~3番目に少ない値と同程度の場合を表します。
- 少 … 予想発生量が過去10年の最小値と同程度の場合を表します。

予想発生量	多	やや多	並				やや少	少		
過去10年間の値(多い順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

なお、現況欄についても予想発生量と同様の方法によって現時点の発生状況を5階級に区分し、表記しています。

6 その他の情報

(1) 農薬危害防止運動の実施について

広島県では6月1日から8月31日までの3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施します。

農薬の使用に当たっては、使用基準を遵守すると共に飛散防止に努めましょう。また、農薬は鍵のかかる場所へ保管するなど、農薬による危害防止に努めましょう。

平成24年度 病害虫発生予察情報 予報第1号 【広島県東部農業技術指導所】

なお、平成24年度農薬危害防止講習会の開催を次のとおり予定していますので、積極的にご参加ください（事前申し込み不要）。

月 日	時 間	開 催 場 所
6月 5日 (火)	13:30 ~ 17:00	広島県庁本館講堂 【広島市中区基町 10-52】
6月12日 (火)	〃	県立総合技術研究所 農業技術センター講堂 【東広島市八本松町原 6869】
6月19日 (火)	〃	みよしまちづくりセンター ペペらホール 【三次市十日市西六丁目 10-45】
6月26日 (火)	〃	たけはら美術館 1階文化創造ホール 【竹原市中央5-6-28】
7月 3日 (火)	〃	広島県福山庁舎 第一庁舎 141 会議室 【福山市三吉町一丁目1-1】

(2) 各種情報提供

■病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察調査データ（フェロモントラップ及び巡回調査データ）や広島県病害虫・雑草防除基準が掲載されています。適切な病害虫防除に活用してください。

掲載場所：広島県HP「病害虫防除」

（[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫防除）

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/byougaicyuuboujiyo.html>

■メールマガジン「ひろしま県 病害虫情報お知らせメール」の配信について

広島県では、携帯電話等のメール機能を活用した農作物病害虫等の情報配布サービスを行っています。広島県HP「病害虫防除」に記載の手順で登録していただき、現場指導等に活用してください。なお、詳しい内容は、広島県HP内の「病害虫防除」で確認してください（上記参照）。

掲載場所：広島県HP「ひろしま県病害虫情報お知らせメールの配信について」

（[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫発生予察情報）

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/40948.pdf>

■テレホンサービス

農業技術指導所（病害虫防除所）では、病害虫の発生状況をできるだけ速やかにお知らせするため、テレホンサービスを行っています。

気象条件等により発生が大きく左右される病害虫や、ウンカ等の長距離移動性害虫の飛来状況などの情報収集に役立ててください。

地 域	電 話 番 号	対 象 市 町
尾三・福山	082-429-3032	三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 神石高原町, 世羅町

(3) 次回予察情報の発表予定

次回の病害虫発生予察情報（予報第2号）の発表予定は、6月下旬です。対象は、水稻です。

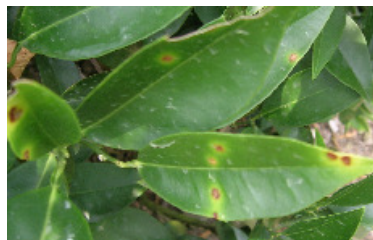
(4) 今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

東部農業技術指導所 病害虫防除チーム（東部病害虫防除所）

【福山市三吉町一丁目1-1, 電話 084-921-1311（内線3810・3811）】

7 病害虫図鑑

1) かいよう病



【写真 ネーブルの新葉の病斑】



【写真 ミカンハモグリガの被害】

【病原】

Xanthomonas campestris pv. *citri*
細菌

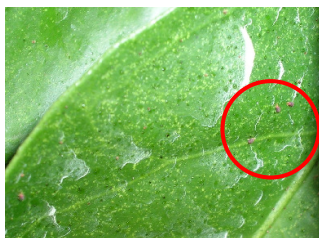
【発病しやすい品種】

ネーブル, レモン, はるみ等

【発症の経過】

伝染原は、葉や枝の病斑である。
病斑から水によって溶け出た伝染細菌は、気孔、傷口から組織に侵入する。台風など暴風時に病勢が拡大する。
ミカンハモグリガの被害があると傷口となり、発症しやすくなる。

2) ミカンハダニ



3) アブラムシ類



4) イセリヤカイガラムシ



【写真 葉上のミカンハダニ (右) と成虫拡大 (左)】 【写真 新枝のアブラムシ】 【写真 成虫】

5) 灰色かび病



【写真 幼果での被害】

【被害のようす】

果実表面に傷を生じる。

【発症の経過】

枯れた花弁に灰色かび病菌が寄生し、幼果が傷果となる。
5分~8分咲きの時期と落弁期に防除する。

6) クワゴマダラヒトリ



【写真 幼虫】

【被害のようす】

新芽や花蕾を食害する。

【発生の経過】

発生は年1回で、8月下旬~9月上旬の間に産卵する。産卵する植物はアカメガシワ等に限られる。発生園に近隣にあるアカメガシワは、10月までに伐採する。

(写真提供：西部農業技術指導所)